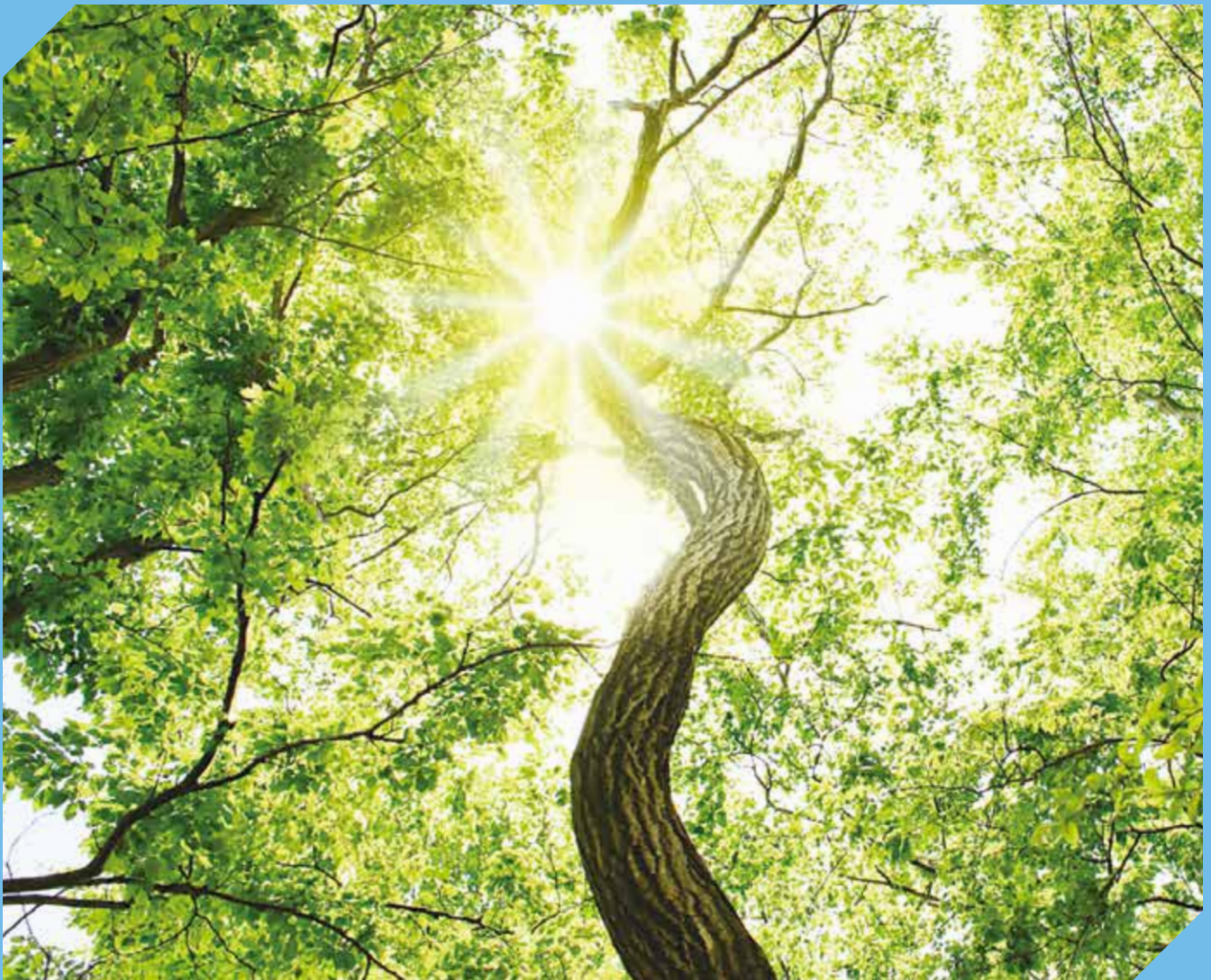


# Ginkeya

www.kumamoto-hsu.ac.jp

銀杏学園通信 ぎんきょう



## 特集 *SPECIAL FEATURE*

# 新カリキュラムへの 移行について

特集・新カリキュラムへの移行について	2
News&Topics	4
未来の巨匠	5
新任教職員紹介	6
令和2年度 入試結果	7
ふれあいSALON	8
新入生インタビュー	9
学園情報	10
国際交流/Library	18
BLS活動紹介/同窓会報告/基本理念/将来ビジョン	19
令和3年度 入試概要	20

## 新カリキュラムへの移行に寄せて

～モデル・コア・カリキュラム策定と共用試験(CBT&OSCE)導入の流れ～



学長 竹屋 元裕

保健医療系教育のカリキュラムは、医学教育をお手本にモデル・コア・カリキュラムの策定と共用試験の導入という方向に向かっていると考えられる。

医学教育では教育内容の標準化を目指して、平成13年3月に文部科学省から医学教育モデル・コア・カリキュラムが発表され、これまでに3回の改訂がなされている。モデル・コア・カリキュラムは学生の臨床能力の習得を重視した内容になっており、個々の学生の修得の程度を評価するために、臨床実習前に全国共通の2種類の共用試験、即ちCBT (Computer-Based Testing)とOSCE(Objective Structured Clinical Examination:客観的臨床能力試験)が用意されている。医学部以外に、歯学部、薬学部、獣医学部にも共用試験が導入され、CBTとOSCEに合格することが、臨床実習に進むための条件となっている。

この流れは保健医療系教育にも広がり、看護学や理学療法学・作業療法学では、すでにモデル・コア・カリキュラムが策定され、医学検査学や言語聴覚学でも策定が進められている。指定規則の改正に伴い、リハビリテーション学科では今年度の新入生を対象に新カリキュラムが導入されたが、今後数年間に看護学や医学検査学のカリキュラム改訂が予定されており、いずれもモデル・コア・カリキュラムの理念に沿ったものになると予想される。CBTやOSCEについては、現在は本学を含め各大学が試行的に実施しているが、将来的に、全国的な導入に向けての流れが加速されるものと思われ、情報収集や実施に向けた準備が必要である。

## 新カリキュラムへの移行について

～時代に適応したカリキュラム～



学部長 榎原 真二

熊本保健科学大学は、保健医療分野の教育研究を通して社会に貢献できる人材を育成することを目的とし、知識伝達型の授業形態からPBL (Problem-based Learning: 問題解決型学習)、ロールプレイ型など、アクティブラーニング型のカリキュラム構築を行ってきた。

リハビリテーション学科PT(理学療法士:Physical Therapist)、OT(作業療法士:Occupational Therapist)は本年度4月入学生から指定規則による新カリキュラムを実施している。ST(言語聴覚士:Speech Therapist)もモデル・コア・カリキュラムに対応した新カリキュラムを適用した。

一昨年度にカリキュラムを変更した看護学科(看護師:Nurse)及び4年前にカリキュラムを変更した医学検査学科(臨床検査技師:Medical Technologist)は、2022年度4月入学生から指定規則変更に伴って新カリキュラムに移行する。

医療系人材養成に関する教育の質保証が保健医療系大学には求められており、新カリキュラムでは臨地実習単位の引き上げ、実習前教育と臨地実習前技能習得到達度評価、所謂OSCE(Objective Structured Clinical Examination:客観的臨床能力試験)が必修となっている。また、臨床実習指導者については資格(免許)取得後5年以上業務に従事した者で、さらに指定された講習会(16時間以上)を修了することなどが要件となっている。またMTは、生理学的検査を臨地実習12単位中4単位、PT、OTでは喀痰の吸引を必修にするなど、より臨床に寄り添ったものとしている。いずれの学科でも地域包括ケアシステムへの参画など、時代に合ったカリキュラムが要求されている。

学生が新カリキュラムで追加・強化された(される)科目などを効果的に学修できる環境の整備も必要不可欠であり、我々教員も時代に即応した進化が求められている。

## 〈医学検査学科〉

### 臨地実習を重視したカリキュラム改定

臨床検査技師養成カリキュラムの見直しが厚生労働省検討会で進められており、令和2年4月8日に報告書がまとまった。

養成に必要な単位数を現在の95単位以上から102単位以上と7単位増えることとなり、指定校と承認校の教育内容を同等にする。単位増減の内訳は、臨地実習が5単位増、生理学的検査と医療安全管理および病態学が各1単位増、臨床検査総合管理が1単位減である。とくに臨地実習は現行の7単位から12単位への増加であり、うち4単位程度を生理学的検査に充て、実習前教育として「技能習得到達度評価(1単位)」を導入する。また、臨地実習では、「必ず実施させる(水準I)」、「実施させることが望ましい(水準II)」、「少なくとも見学はさせる(水準III)」の3つに区分して、実習内容を具体的に示した。さらに、実習受け入れ施設に「臨地実習指導者」、養成施設に「臨地実習調整者」を配置することになる。厚生労働省は2022年度4月の入学者から新カリキュラムを適用する方針である。

医学検査学科 学科長 池田 勝義

## 〈看護学科〉

### コアカリキュラム策定に基づいた新カリキュラムの評価および指定規則改訂に向けた検討

2016年度に大学が示した「カリキュラム改革の基本方針」とその翌年に文部科学省が策定した「看護教育モデル・コア・カリキュラム」のもと、当時のカリキュラムの問題点を整理し、約2年かけて新カリキュラムを策定した。具体的には、専門基礎科目および専門科目の内容と時間数および配当時期について、段階的・効果的・確実に学べるように、科目名の変更や配当時期の変更、科目の分割や統合、必修化、新設・廃止等を行った。新カリキュラムは昨年度の入学生から適用されており、やっと1年次のカリキュラムを終えたばかりであるが、特に大きな変更点である「2年次後期から4年次前期の間での配当時期の変更」と「3年次の臨地実習期間の短縮」については、これからの実施であるため、順次評価を行いながら、2022年度入学生より適用予定の第5次カリキュラム「指定規則および運営指導ガイドライン」改正に向けての検討も行うこととなる。

看護学科 学科長 羽田野 花美

## 〈リハ学科 理学〉

### 臨床実習の配当期・単位数の変更と、地域実習の新規追加

新指定規則では、通所リハ・訪問リハ施設における実習(地域実習)が必須化されたので、2年次に新規科目として追加した。

また、学外実習前の実技試験により、直接患者様に接するに当たり総合的な知識や技能等を備えているかの確認をすることも義務化されたので、実習に関する単位数も変更した。また、2期ある臨床総合実習の1つを3年次に移行することで、4年次の就職活動と卒業研究等のスケジュールの過密化を減らした。

実習内容と配当期について		
1年次	見学実習	→ 見学実習
2年次	検査測定実習	→ 地域実習
3年次	評価実習	→ 評価実習 臨床総合実習I
4年次	臨床総合実習I	→ 臨床総合実習II
	臨床総合実習II	

リハビリテーション学科 理学療法専攻 専攻長 久保 高明

## 〈リハ学科 生活〉

### 作業療法士の役割の増大に伴い、教育内容と臨床実習を充実

社会的ニーズの多様化に対応できる作業療法士を養成するために、専門基礎科目の授業内容に「栄養、薬理、医用画像、救急救命及び予防の基礎」を含めることや、保健医療福祉関連科目に「自立支援、就労支援、地域包括ケアシステム及び多職種連携の理解」を加えることが明記された。

臨床実習では、通所又は訪問リハビリテーションに関する実習を含むことが義務づけられるなど、地域での役割を重視する設定となった。

また、臨床実習指導者の条件も厳しくなるため、さらに充実した臨床実習が行われる予定である。

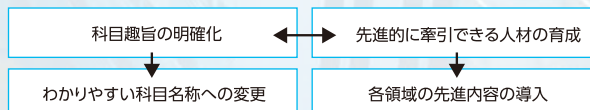
新しく授業に含まれる内容
「栄養、薬理、医用画像、救急救命及び予防の基礎」、 「職業倫理」、「自立支援、就労支援、地域包括ケアシステム、 多職種連携の理解」、「喀痰の吸引」等
臨床実習指導者の条件の変更点
(旧)3年以上の臨床経験 ↓ (新)5年以上の臨床経験と臨床実習指導者講習会等の修了

リハビリテーション学科 生活機能療法専攻 専攻長 吉田 真理子

## 〈リハ学科 言語〉

### 従来のものの科目名を変更し、新たに6科目を新設

今回の変更では、教養科目、専門基礎科目、専門科目の体系を見直すとともに科目名を変更することで科目趣旨を明確化し科目配置の不均衡を是正した。また先進的に牽引できる人材育成を目的に、「失語・高次脳機能障害先進科学」、「発声発語・聴覚障害先進科学」、「吃音・流暢性障害先進科学」、「言語発達障害先進科学」、「摂食嚥下障害先進科学」、「臨床コミュニケーション先進科学」の6科目を本区分として新設した。

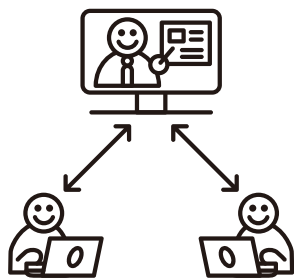


リハビリテーション学科 言語聴覚専攻 専攻長 大塚 裕一

## 遠隔授業の実施について

教務委員長・教授 多久島寛孝

本学では、新型コロナウイルス感染拡大の影響により新学期の開始が遅れ、4月27日(月)から遠隔授業での開始となりました。教務委員会では、学生のインターネット環境、使用している端末、通信費等々を考慮しスムーズに開始できるよう、本学が導入しているWebポータルシステムActive Academy Advance (AAA)での遠隔授業を行うこととしました。それに合わせて、「AAAを用いた遠隔授業の実施にあたって」「AAA操作説明書(遠隔授業用)」を作成し説明会を開催しました。学生はAAAを通じて、遠隔授業に関する連絡・遠隔授業用AAA操作説明書・授業予定表などを受け取り受講が始まりました。遠隔授業は教員・学生双方にとって初めての経験でしたが、これまでのところ大きなトラブル等はなく順調に進行しています。5月14日に緊急事態宣言は解除されましたが、前期セメスターは一部の科目を除き、原則としてAAAでの授業継続が決定しました。当面の課題は、AAAの機能の整備・拡充と学生の学修に対する細やかな支援です。また、今回の新型コロナウイルス感染の収束を見据え、ICT(Information and Communication Technology: 情報通信技術)を活用した授業方法の選択肢を増やすこと、そのためのネットワーク(回線・セキュリティポリシー)の検討等が今後の課題としてあげられます。



## 後援会役員紹介

本学後援会は、前身である銀杏学園短期大学の開学(昭和43年)と同時に結成されました。学園における教育の発展と施設の充実、会員と大学との連携を図ることを目的として、全ての学生の保護者に会員になっていただき、ご支援をお願いしております。

例年、後援会総会は入学式当日の4月2日に開催しておりますが、今年度はコロナ禍により中止し、令和2年度の審議事案(令和元年度決算報告、令和2年度予算案、役員改選案等)について本学ホームページに掲載し、承認を得ました。

役員改選では、卒業・入学等に伴い2名の役員が退任されると共に、新たに3名の役員が就任されました。

以下に、新役員を紹介します。(各役職とも五十音順に掲載。敬称略)

会長 (1名) 西澤 裕司	黒澤 禎治
副会長 (3名) 栗屋 由香	田中 祐美子
濱岡 靖子	中山 美樹
樋口 達巳	西村 良子
理事 (12名) 赤星 恵美	牧野 真由美
糸山 いづみ	松田 恵美子
岩本 博	監事 (3名) 池島 香織
緒方 乃里江	宮崎 ゆかり
神永 しのぶ	宮本 理恵
栗原 大治	会計 (1名) 井上 智勝

※下線の方が新たに就任されました。

(学務課)

## 令和元年度 進路状況

就職委員長・教授 古閑公治

令和元年度進路(就職・進学)状況についてご報告いたします。これからも私たち教職員は、学生たちの充実した就職環境を整えるとともに、全力で学生たちの就職・進学活動を支援いたします。卒業生・修了生の皆様方におかれましても、より一層本学へのご支援・ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

学科・専攻	進路決定状況 (決定者/希望者)	進路決定率	備考
医学検査学科	101名/101名	100%	就職101名
看護学科	106名/106名	100%	就職 92名, 進学14名
リハ学科 理学	42名/ 42名	100%	就職 40名, 進学 2名
リハ学科 生活	41名/ 41名	100%	就職 41名
リハ学科 言語	44名/ 44名	100%	就職 43名, 進学 1名
助産別科	19名/ 19名	100%	就職 19名

## 令和元年度 国家試験結果報告

国家試験対策委員長・教授 南部雅美

令和元年度の国家試験結果についてご報告いたします。本学では、模擬試験の結果の詳細な分析による対策講座、SG(スモールグループ)担任教員による個別面接指導、学生主導の国家試験対策勉強会と合格に向けたサポートは“万全”と自負しております。今後ともご支援・ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

国家試験合格状況 ※下段の( )は全国

	受験者数 (人)	合格者数 (人)	合格率 (%)	昨年の合格率 (%)
第106回 保健師	21 (8,233)	21 (7,537)	100.0 (91.5)	90.0 (81.8)
第109回 看護師	109 (65,568)	106 (58,513)	97.2 (89.2)	96.7 (89.3)
第103回 助産師	19 (2,105)	19 (2,093)	100.0 (99.4)	100.0 (99.6)
第66回 臨床検査技師	103 (4,854)	96 (3,472)	93.2 (71.5)	83.2 (75.2)
第55回 理学療法士	43 (12,283)	42 (10,608)	97.7 (86.4)	93.8 (85.8)
第55回 作業療法士	42 (6,352)	41 (5,548)	97.6 (87.3)	91.1 (71.3)
第22回 言語聴覚士	47 (2,486)	44 (1,626)	93.6 (65.4)	97.8 (68.9)

## 熊本県医事・薬事・健康づくり功労賞受賞

医学検査学科 松本 珠美 准教授が「熊本県医事・薬事・健康づくり功労者賞」を受賞されました。同賞は、公益事業や地域保健事業等への貢献に対し、熊本県臨床検査技師会より推薦され、医事功労者として県知事表彰されるものです。2018年に池田 勝義 教授の受賞以来、本学で2人目の受賞となりました。今年3月に祝賀会も催される予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で延期となりました。松本先生の功労と今後ますますのご活躍を祈念いたします。おめでとうございます。



(企画・人事課)

# 新任教職員紹介 ようこそ、熊本保健科学大学へ

# 学校法人銀杏学園 理事・幹事・評議員一覧

(2020年5月27日現在)

理事長	崎元 達郎	学校法人銀杏学園 理事長
理事	竹屋 元裕	熊本保健科学大学 学長
	福田 稔	熊本県医師会 会長
	杉内 博幸	熊本保健科学大学 副学長
	木下 統晴	一般財団法人 化学及血清療法研究所 理事長
	楢原 真二	熊本保健科学大学 学部長
	副島 秀久	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 熊本県済生会支部長
	高橋 毅	国立病院機構 熊本医療センター 院長
	猪股裕紀洋	熊本大学病院 元病院長 熊本労災病院 院長
	佐藤 哲朗	一般財団法人 化学及血清療法研究所 元理事
	崎元 達郎	熊本保健科学大学 前学長
監事	林田 喜一	税理士
	足達 聡	BR LINKS 代表
評議員	竹屋 元裕	熊本保健科学大学 学長
	杉内 博幸	熊本保健科学大学 副学長
	楢原 真二	熊本保健科学大学 学部長
	今村 修	学校法人銀杏学園 法人局長
	河瀬 晴夫	熊本保健科学大学 事務局長
	瀧口 巖	同窓会連合会 会長
	原田 精一	医学検査学科同窓会 会長
	中野 博之	看護学科同窓会 会長
	池田 夕希	助産別科同窓会 会長
	福田 稔	熊本県医師会 会長
	園田 寛	熊本市医師会 会長
	福吉 葉子	熊本県臨床検査技師会 副会長
	嶋田 晶子	熊本県看護協会 会長
坂崎 浩一	熊本県理学療法士協会 会長	
内田 正剛	熊本県作業療法士会 会長	
山本 恵仙	熊本県言語聴覚士会 会長	
谷原 秀信	熊本大学病院 院長	
平田 稔彦	熊本赤十字病院 院長	
米満弘一郎	医療法人社団寿量会 熊本機能病院 理事長	
浅山 弘康	熊本県経営者協会 顧問	
毛利 浩一	株式会社フードパル熊本 代表取締役	
内田 昭治	西里校区自治協議会 会長	
馬場 啓	学校法人銀杏学園 顧問弁護士	
木下 統晴	一般財団法人 化学及血清療法研究所 理事長	
藤井 隆	一般財団法人 化学及血清療法研究所 副理事長	

## 医学検査学科



教授  
飯伏 義弘

私は広島県の広島市立広島市民病院から4月1日付で赴任してきました。歴史と伝統のある本大学に来られたことをうれしく思っています。講義は心電図、心臓超音波、肺機能など循環生理学を行います。39年間の臨床の経験を生かして、教科書に載っていないような現場のお話も出来ればと思っています。よろしくお願ひします。

## 医学検査学科



教授  
上仲 一義

4月1日に医学検査学科の教授として着任致しました。これまではKMバイオロジクス株式会社/化血研において研究開発部門に所属し、新規ワクチンの研究開発並びに新規アジュバントの研究を行ってまいりました。教育経験はほとんどございませんが、これまでの職歴を生かして、新たな視点から教育並びに研究に励み、本学の発展に尽力したいと考えております。どうぞよろしくお願ひ致します。

## 医学検査学科

准教授  
立石 多貴子

本学を卒業し、助手として勤務させていただいた後、16年間臨床経験と他学での教育経験を積み、再び医学検査学科に勤務させていただけることになりました。検査管理運営学など臨床検査の管理・運営にかかわる科目を担当させていただきます。後輩の育成と母校の発展のため、精一杯頑張りたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

## 看護学科



准教授  
村上 美華

成人看護学領域に着任致しました。鳥がさえずる自然豊かなキャンパスで教育に従事できることを嬉しく思います。熊本保健科学大学の4綱領「知識」「技術」「思慮」「仁愛」を念頭に、他者に関心を寄せ、個人の尊厳を守り、温かみのあるケアを提供できる看護職の育成に尽力したいと考えております。よろしくお願ひ致します。

## 看護学科

講師  
薄井 嘉子

4月1日より、成人看護学領域に着任いたしました。主に慢性期実習を担当させていただきます。実習施設の方々等のお力添えを賜りながら、学生の皆さんが、知識、技術のみならず人間力を磨き、看護専門職として成長できるよう全力でサポートしていきたいと考えています。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

## 看護学科

教務嘱託  
磯野 さよ子

3月まで看護師として病棟に勤務していました。以前に4年ほど教職経験はありますが、久々に学生さんに関わることになり、一緒に学んでいくという気持ちでいっばいです。看護師の視点を忘れず、母としての経験も活かし、我が子を育てる思いで指導していきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。

## リハビリテーション学科 生活機能療法学専攻



講師  
松尾 崇史

本年度、生活機能療法学専攻に着任致しました松尾崇史と申します。専門は身体障害領域(高次脳機能障害)です。主な研究として半側空間無視患者の聴覚(音源定位)に関連する臨床研究を中心に着手しております。ご興味または何かご相談等ありましたら気軽にご連絡ください。宜しくお願ひ致します。

## リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻



教授  
山田 和慶

脳神経外科のなかの機能神経外科という特殊分野に携わってきました。パーキンソン病やジストニア、振戦などの運動異常症が対象で、脳深部刺激療法 deep brain stimulation (DBS) という手段で治療します。特に多職種間連携が大切な領域であり、チーム医療を担う人材の育成は、大切な任務だと心得ております。よろしくお願ひ申し上げます。

## 共通教育センター



助教  
伊吹 唯

この度共通教育センターに着任いたしました。英語や基礎セミナーを担当いたします。社会に出たときに役立つ英語や教養を、楽しく学修していただける授業を目指して頑張ります。専門は社会学で、日本社会と移民について研究しています。これから多くの学生さんに関わる機会を楽しみにしています。よろしくお願ひいたします。



# 令和2年度 入試結果

学科	入試区分	募集人員	志願者	合格者	入学者	志願倍率	実質倍率	
医学検査学科	指定校推薦	15	10	10	10	—	—	
	一般推薦	35	34	30	30	1.0	1.1	
	一般	40	171	104	58	4.3	1.6	
	センター（前期）	5	108	53	10	21.6	2.0	
	センター（後期）	5	10	5	4	2.0	2.0	
	学科合計	100	333	202	112	3.3	1.6	
看護学科	指定校推薦	15	14	14	14	—	—	
	一般推薦	32	98	32	32	3.1	3.1	
	一般	43	278	106	52	6.5	2.6	
	センター（前期）	5	125	43	7	25.0	2.9	
	センター（後期）	5	12	5	4	2.4	2.4	
	学科合計	100	527	200	109	5.3	2.6	
リハビリテーション学科	理学療法学専攻	指定校推薦	5	4	4	4	—	—
		一般推薦	15	50	16	16	3.3	3.1
		一般	15	110	31	20	7.3	3.5
		センター（前期）	3	63	16	3	21.0	3.9
		センター（後期）	2	6	2	1	3.0	3.0
		社会人	若干名	1	1	1	—	1.0
		専攻合計	40	234	70	45	5.9	3.3
	生活機能療法学専攻	指定校推薦	5	4	4	4	—	—
		一般推薦	15	23	16	16	1.5	1.4
		一般	15	40	22	16	2.7	1.8
		センター（前期）	3	62	40	13	20.7	1.6
		センター（後期）	2	0	0	0	—	—
		社会人	若干名	0	0	0	—	—
		専攻合計	40	129	82	49	3.2	1.6
	言語聴覚学専攻	指定校推薦	5	4	4	4	—	—
		一般推薦	15	29	16	16	1.9	1.8
		一般	15	43	20	15	2.9	2.2
		センター（前期）	3	62	37	8	20.7	1.7
		センター（後期）	2	5	2	1	2.5	2.5
		社会人	若干名	0	0	0	—	—
		専攻合計	40	143	79	44	3.6	1.8
学科合計		120	506	231	138	4.2	2.2	
保健科学部合計		320	1,366	633	359	4.3	2.2	

# 令和2年度 学生在籍者数

5月1日現在

	保健科学部						学部合計	助産別科	大学院保健科学研究科	特定行為 研修課程	認定看護師 教育課程 (脳卒中 看護分野)	大学合計
	医学検査 学科	看護 学科	リハビリテーション学科			学部合計						
			理学療法学 専攻	生活機能療法学 専攻	言語聴覚学 専攻							
1年	116	110	46	49	44	139	365	21	8	2	3	399
2年	119	131	46	39	49	134	384		6			390
3年	118	111	47	43	44	134	363					363
4年	103	108	43	40	43	126	337					337
計	456	460	182	171	180	533	1,449	21	14	2	3	1,489

## 学友会役員紹介



令和2(2020)年度  
学友会会長

医学検査学科3年  
久多見 健太

本年度学友会会長を務めさせていただく医学検査学科3年の久多見健太です。副会長の本田奨(医学検査学科3年)、河野晴希(理学療法専攻2年)、他の学友会運営部役員と共に先生方をはじめ、事務局の皆様や4年生相談役員の先輩方の力をお借りして1年間頑張っていきます。

今年度は新型コロナウイルスの影響により変則的な運営になることが予想されます。しかしそのような状況下でも形を変えて行ったり積極的な情報発信を行ったりと工夫を凝らし、自粛する事業はこれまで受け継いできた学友会の歴史や伝統を失わないように次の運営部へ繋いでいこうと思います。そのためにも前会長の働きによりデジタル化された情報管理をより使いやすく改善し、正確で丁寧な引き継ぎを行おうと思います。

学友会のメンバーは学年学科の枠を超えて仲が良く、仕事に真面目に取り組みながら楽しさを忘れません。困難な状況下でも運営部全員で一致団結して臨機応変な対応で乗り切ろうと思います。

本学がより一層良いものになるよう学友会運営部役員一同努めてまいります。1年間どうぞよろしくお願いたします。



## フットサルクラブ



**部長**  
リハビリテーション学科  
理学療法専攻2年  
田中 翔大

**部員**  
30名

**活動場所**  
新アリーナ

こんにちは！フットサルクラブです。

私たちは、主に火曜日を活動日とし、新アリーナで楽しくフットサルを行っています。現在は30名程の部員がいて、もともとサッカーなどを経験していた人もいれば、大学から初めて始めたという人など、さまざまな学生が所属しています。活動内容としては、普段はいくつかチームを作り、ゲーム形式で試合を回しています。

最近では、女子もフットサルに参加する機会が多く、女子同士で試合を行ったり、経験者が試合に混じり、サポートしてあげるなど、誰もがフットサルを楽しむことができるように工夫しています。大会は、年に3、4回ほど参加していて、学年ごとにチームを分けて参加したりして、互いのチームで切磋琢磨しながら大会を楽しんでいます。

みなさんもぜひフットサルをしてみませんか？初心者もたくさんいるので、経験者はもちろん、初めての人でもきっと楽しめるはずですよ！少しでも気になれば足を運んで体験してみたり、見学してみたりしてください。ぜひお待ちしております！

## サークル情報



一緒に活動しませんか！

## あいうえおランド(華道)



**部長**  
医学検査学科2年  
西邑 友希

**部員**  
21名

**活動場所**  
1303M

こんにちは！生け花サークルあいうえおランドです。

あいうえおランドは創作生け花「花乃流」の家元矢津尚弘氏を講師に迎え、毎月季節のお花を様々な生け方で生けています。春は梅、冬はクリスマスの飾りやお正月の松などを生け、四季を感じながら花について学ぶことができます。

生け花と聞くと堅苦しいものを想像しがちですが、あいうえおランドは全員が初心者で、一人一人個性を発揮し、和やかな雰囲気の中、伸び伸びと活動しています。杏祭にも毎年出展しており、毎月の活動の成果を発揮しています。さらにお花の資格も取ることができます!!

生けた花は持ち帰ることができ、活動が終わっても自宅で長く花を楽しめます。

また、生け花は日本の誇るべき伝統文化でもあります。本校に留学でいらっしやる韓国大邱大学、タイのコンケン大学の学生にも、毎年本クラブで生け花を体験して頂いています。

皆さんもぜひ一度、私たちと一緒に花をいけてみませんか？

# 新入生 インタビュー

今年度の新入生に入学しての感想・  
これからの抱負・楽しみにしている事etc…  
インタビュー!

(2020年5月31日現在)



## 医学検査学科



福丸 侑里

### Q1 熊本保健科学大学に入学しての感想は?

コロナの影響で遠隔授業となり、授業の内容も高校とは大きく異なり不安な部分もありましたが、講義はとても分かりやすく、たくさんの知識を得ることが出来ます。登校が可能になれば、交流を深め充実した生活を送りたいです。

### Q2 大学生活でやってみたいことは?

大学ではサークルなど他学科の人たちと交流を深める機会が多いため、4年間を通して多くの人と出会い、会話する機会を増やし、コミュニケーション力をつけるとともに、勉学にもしっかりと励んでいきたいです。

最後に  
ひとこと!

自分がなりたい臨床検査技師を目指し、4年間頑張ります!

## 看護学科



矢加部 未久

### Q1 熊本保健科学大学に入学しての感想は?

新型コロナウイルスの影響で遠隔授業が行われている状況ですが、授業を担当されている先生方やスモールグループの担任・副担任の先生方が私達を常にサポートしてくださっているので安心して学ぶことができています。対面授業が始まるのを待ち遠しく思います。

### Q2 大学生活でやってみたいことは?

ボランティア活動とサークル活動です。病院のボランティア活動で、学生時代から医療の現場に触れる経験をしていきたいです。時間があれば、海外ボランティアにも参加してみたいなと思います。また、サークル内で他学科・学年の人とも交流してみたいです。

最後に  
ひとこと!

沢山の人の関わりの中で多くのことを吸収し、自分の理想とする看護師になれるよう頑張りたいです。

## リハビリテーション学科 言語聴覚専攻



西川 日菜

### Q1 熊本保健科学大学に入学しての感想は?

授業が高校生の時とは違い専門の教科が多いので難しいと感じることも多々ありますが、大学生になったという実感がわき大学に通学するのを楽しみに感じています。新型コロナウイルスの影響でみんな家にいる時間が長く、勉強面で置いて行かれないか不安に感じているので、ついていけるように頑張りたいと思います。

### Q2 大学生活でやってみたいことは?

高校生の時は、アルバイトができなかったのでアルバイトをしてみたいです。授業で習うような勉強だけでなくアルバイトをすることで社会勉強もして将来に役立てたいです。また、ボランティアも学生のときでしかたくさんできないので積極的にやっていきたいです。

最後に  
ひとこと!

将来後悔しないよう大学生活を充実したものにするためにいろんなことに挑戦したいです。自分の理想の言語聴覚士になれるように頑張っていきたいです。

## 助産別科



兵藤 真悠

### Q1 熊本保健科学大学に入学しての感想は?

私は本学の看護学科を卒業して、助産別科に入学しました。現在は新型コロナウイルス感染症への対応で、対面授業や学内演習といった学修は延期されており、遠隔授業のみですが、専門的な学習でワクワクして勉強できています。演習や実習などでも友人たちと励まし合い楽しみながら頑張っていきたいです。

### Q2 大学生活でやってみたいことは?

可能であれば地域のボランティアなどに参加し、赤ちゃんや子どもたちと触れ合い、地域における子育て支援などの専門的な視野を広げることが出来たらいいなと思ってます。また、様々な年代の人と関わり、コミュニケーション能力をあげていきたいです。

最後に  
ひとこと!

1年間という短い期間ですが、たくさんの事を吸収して、最後の学生生活を楽しみたいと思います。

## 大学院



福嶋 理香

### Q1 熊本保健科学大学に入学しての感想は?

最初は他大学卒業後に期間が空いての入学であることや遠隔授業でのスタートということがあり、多少不安に思うこともありました。しかし、教員の方々の手厚い御支援・御指導を受け充実した大学院生活を送ることができています。

### Q2 大学生活でやってみたいことは?

臨床検査の業務に従事しているため、現場で得た知識や経験を活かしつつ授業や研究に取り組むことが目標です。また大学院には領域や専門が異なる方や社会人も多く、積極的に交流を持ち知見を広げていきたいです。

最後に  
ひとこと!

周囲の方々に御協力頂き、大学院で学ぶという貴重な機会を得ることができました。感謝を忘れることなく、日々精進していきたいと思います。

これから共に頑張りましょう!





## 令和元年度決算報告

(経理課長)

学校法人銀杏学園の令和元年度決算は、令和2年5月27日開催の評議員会及び理事会において承認されましたので、事業活動収支計算書、資金収支計算書、貸借対照表を掲載し報告いたします。

### ①事業活動収支計算書

令和元年度の経常収支差額は+123百万円と収支均衡を達成しており、前年比+15百万円でした。支出面において人件費が30百万円増加したにもかかわらず、収入面では寄付金が50百万円とそれ以上に増加したことが貢献しました。

### ②資金収支計算書

令和元年度の翌年度繰越支払資金は2,046百万円となり、前年比

+248百万円でした。これは、有価証券償還により資産売却収入300百万円が計上されたことが貢献したものです。

### ③貸借対照表

総資産は10,084百万円、負債697百万円、純資産9,387百万円となりました。これらの前年比は総資産が+154百万円、負債が+26百万円、純資産が+128百万円でした。

貸借を、資金の調達と運用という視点で見ると、経常収支差額123百万円と有価証券償還300百万円から調達した資金を、有形固定資産増加(主に新レストランの建設仮勘定)208百万円と現預金増加248百万円という使途で運用した、ということが出来ます。

事業活動収支計算書要約 (平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(単位：千円)

科目		令和元年度決算	平成30年度決算	増減	科目	令和元年度決算	平成30年度決算	増減	
教育活動収入	学生生徒等納付金	1,998,909	2,027,040	△ 28,131	特別収支	資産売却差額	0	0	
	手数料	39,180	41,802	△ 2,622		その他の特別収入	10,918	11,460	△ 542
	寄付金	74,970	24,738	50,232		特別収入計	10,918	11,460	△ 542
	経常費等補助金	292,363	306,268	△ 13,905		資産処分差額	5,580	31	5,549
	付随事業収入	27,996	2,185	25,811		その他の特別支出	37	0	37
	雑収入	40,164	26,434	13,730		特別支出計	5,617	31	5,586
	教育活動収入計	2,473,582	2,428,466	45,116		特別収支差額	5,301	11,430	△ 6,129
	人件費	1,332,362	1,302,303	30,059		基本金組入前当年度収支差額	128,344	118,986	9,358
	教育研究経費	876,974	868,545	8,429		基本金組入額合計	△ 521,944	△ 561,433	39,489
	管理経費	181,993	196,372	△ 14,379		当年度収支差額	△ 393,600	△ 442,447	48,847
徴収不能額等	0	1,300	△ 1,300	前年度繰越収支差額	△ 2,963,789	△ 2,521,342	△ 442,447		
教育活動支出計	2,391,329	2,368,520	22,809	基本金取崩額	0	0	0		
教育活動収支差額	82,253	59,946	22,307	翌年度繰越収支差額	△ 3,357,389	△ 2,963,789	△ 393,600		
教育活動外収入	受取利息・配当金	40,790	47,610	△ 6,820	(参考)	事業活動収入計	2,525,290	2,487,537	37,753
	その他の教育活動外収入	0	0	0	事業活動支出計	2,396,946	2,368,551	28,395	
	教育活動外収入計	40,790	47,610	△ 6,820					
	借入金等利息	0	0	0					
	その他の教育活動外支出	0	0	0					
	教育活動外支出計	0	0	0					
教育活動外収支差額	40,790	47,610	△ 6,820						
経常収支差額	123,043	107,556	15,487						

資金収支計算書要約 (平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(単位：千円)

収入の部				支出の部			
科目	令和元年度決算	平成30年度決算	増減	科目	令和元年度決算	平成30年度決算	増減
学生生徒等納付金収入	1,998,909	2,027,040	△ 28,131	人件費支出	1,318,767	1,296,922	21,845
手数料収入	39,180	41,802	△ 2,622	教育研究経費支出	512,497	502,193	10,304
寄付金収入	74,970	24,738	50,232	管理経費支出	147,519	165,564	△ 18,045
補助金収入	292,363	306,268	△ 13,905	借入金等利息支出	0	0	0
資産売却収入	300,000	852,742	△ 552,742	借入金等返済支出	0	0	0
付随事業・収益事業収入	27,997	2,185	25,812	施設関係支出	489,260	37,355	451,905
受取利息・配当金収入	40,790	47,610	△ 6,820	設備関係支出	98,937	77,797	21,140
雑収入	40,164	26,434	13,730	資産運用支出	0	600,000	△ 600,000
借入金等収入	0	0	0	その他の支出	82,156	536,829	△ 454,673
前受金収入	333,832	371,312	△ 37,480				
その他の収入	19,882	46,080	△ 26,198				
資金収入調整勘定	△ 402,708	△ 369,323	△ 33,385	資金支出調整勘定	△ 131,676	△ 84,073	△ 47,603
前年度繰越支払資金	1,797,995	1,553,695	244,300	翌年度繰越支払資金	2,045,914	1,797,995	247,919
収入の部合計	4,563,374	4,930,583	△ 367,209	支出の部合計	4,563,374	4,930,583	△ 367,209

貸借対照表要約 (令和2年3月31日現在)

(単位：千円)

資産の部				負債の部				純資産の部			
科目	令和元年度末	平成30年度末	増減	科目	令和元年度末	平成30年度末	増減	科目	令和元年度末	平成30年度末	増減
固定資産	8,004,249	8,109,703	△ 105,454	固定負債	175,464	161,869	13,595	基本金	12,744,763	12,222,819	521,944
有形固定資産	6,685,254	6,477,740	207,514	預り保証金	150	150	0	第1号基本金	12,571,763	12,049,819	521,944
土地	1,504,743	1,504,743	0	退職給与引当金	175,314	161,719	13,595	第4号基本金	173,000	173,000	0
建物	3,728,479	3,900,360	△ 171,881	流動負債	521,323	508,898	12,425	繰越収支差額	△ 3,357,389	△ 2,963,789	△ 393,600
その他の有形固定資産	1,452,032	1,072,637	379,395	未払金	128,189	79,544	48,645	翌年度繰越収支差額	△ 3,357,389	△ 2,963,789	△ 393,600
特定資産	170,000	170,000	0	前受金	333,832	371,312	△ 37,480	純資産の部合計	9,387,374	9,259,030	128,344
その他の固定資産	1,148,995	1,461,962	△ 312,967	預り金	59,302	58,042	1,260	負債及び純資産の部合計	10,084,161	9,929,797	154,364
流動資産	2,079,912	1,820,094	259,818	負債の部合計	696,787	670,767	26,020				
現金預金	2,045,914	1,797,995	247,919								
その他の流動資産	33,998	22,100	11,898								
資産の部合計	10,084,161	9,929,797	154,364								

# 令和2年度予算報告

(経理課長)

学校法人银杏学園の令和2年度予算は、令和2年5月27日開催の評議員会及び理事会において承認されましたので、事業活動収支予算書、資金収支予算書を掲載し報告いたします。

## ①事業活動収支予算書

令和2年度の経常収支差額は±0百万円と収支均衡が保たれていますが、前年度からは123百万円減少します。これは支出面において、人件費40百万円/教育研究経費54百万円/管理費34百万円が、それぞれ増加することが影響しています。

## ②資金収支予算書

令和2年度の翌年度繰越支払資金は1,500百万円となり、前年度繰越支払資金2,046百万円から546百万円減少します。これは有価証券への新規投資500百万円を計画していることが影響しています。

事業活動収支予算書要約 (令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(単位：千円)

科目		令和2年度予算	令和元年度決算	増減	科目		令和2年度予算	令和元年度決算	増減		
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	2,006,000	1,998,909	7,091	特別収支	収入の部	資産売却差額	0	0	0
		手数料	43,000	39,180	3,820			その他の特別収入	0	10,918	△ 10,918
		寄付金	44,000	74,970	△ 30,970			特別収入計	0	10,918	△ 10,918
		経常費等補助金	300,000	292,363	7,637		支出の部	資産処分差額	0	5,580	△ 5,580
		付随事業収入	25,000	27,996	△ 2,996			その他の特別支出	0	37	△ 37
		雑収入	66,000	40,164	25,836			特別支出計	0	5,617	△ 5,617
		教育活動収入計	2,484,000	2,473,582	10,418			特別収支差額	0	5,301	△ 5,301
	事業活動支出の部	人件費	1,372,364	1,332,362	40,002	[予備費]	30,000		30,000		
		教育研究経費	930,612	876,974	53,638	基本金組入前当年度収支差額	△ 30,000	128,344	△ 158,344		
		管理経費	216,024	181,993	34,031	基本金組入額合計	△ 451,855	△ 521,944	70,089		
徴収不能額等		0	0	0	当年度収支差額	△ 481,855	△ 393,600	△ 88,255			
教育活動支出計		2,519,000	2,391,329	127,671	前年度繰越収支差額	△ 3,357,389	△ 2,963,789	△ 393,600			
教育活動収支差額		△ 35,000	82,253	△ 117,253	基本金取崩額	0	0	0			
教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金	35,000	40,790	△ 5,790	翌年度繰越収支差額	△ 3,839,244	△ 3,357,389	△ 481,855		
		その他の教育活動外収入	0	0	0	(参考)					
		教育活動外収入計	35,000	40,790	△ 5,790	事業活動収入計	2,519,000	2,525,290	△ 6,290		
	支出の部	借入金等利息	0	0	0	事業活動支出計	2,549,000	2,396,946	152,054		
		その他の教育活動外支出	0	0	0						
		教育活動外支出計	0	0	0						
教育活動外収支差額		35,000	40,790	△ 5,790							
経常収支差額		0	123,043	△ 123,043							

資金収支予算書要約 (令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(単位：千円)

収入の部				支出の部			
科目	令和2年度予算	令和元年度決算	増減	科目	令和2年度予算	令和元年度決算	増減
学生生徒等納付金収入	2,006,000	1,998,909	7,091	人件費支出	1,342,570	1,318,767	23,803
手数料収入	43,000	39,180	3,820	教育研究経費支出	535,612	512,497	23,115
寄付金収入	44,000	74,970	△ 30,970	管理経費支出	180,024	147,519	32,505
補助金収入	300,000	292,363	7,637	借入金等利息支出	0	0	0
資産売却収入	0	300,000	△ 300,000	借入金等返済支出	0	0	0
付随事業・収益事業収入	25,000	27,997	△ 2,997	施設関係支出	388,000	489,260	△ 101,260
受取利息・配当金収入	35,000	40,790	△ 5,790	設備関係支出	63,855	98,937	△ 35,082
雑収入	66,000	40,164	25,836	資産運用支出	500,000	0	500,000
借入金等収入	0	0	0	その他の支出	139,189	82,156	57,033
前受金収入	339,090	333,832	5,258				
その他の収入	31,396	19,882	11,514	[予備費]	30,000		30,000
資金収入調整勘定	△ 353,833	△ 402,708	48,875	資金支出調整勘定	△ 97,683	△ 131,676	33,993
前年度繰越支払資金	2,045,914	1,797,995	247,919	翌年度繰越支払資金	1,500,000	2,045,914	△ 545,914
収入の部合計	4,581,567	4,563,374	18,193	支出の部合計	4,581,567	4,563,374	18,193

## 令和元年度事業報告

### 目次

#### I 法人の概要

- 1 建学の精神、基本理念及びミッション
- 2 沿革
- 3 役員・評議員
- 4 設置する学校・学部・学科等
- 5 入学定員及び学生数
- 6 教職員の概要
- 7 卒業生の概要

#### II 事業の概要

- 1 主な事業の内容
  - (1) 全体概要
  - (2) 教育に関すること
  - (3) 研究に関すること
  - (4) 経営に関すること
  - (5) 業務運営・その他に関すること
- 2 学生の動向
  - (1) 入学試験における志願等の状況
  - (2) 国家試験の合格状況
  - (3) 卒業生の進路状況

#### III 財務の概要

- 1 事業活動収支計算書(過去5年分)
- 2 貸借対照表(過去5年分)
- 3 財務比率(過去5年分)

#### II 事業の概要

##### 1 主な事業の内容

###### (1) 全体概要

2019(令和元)年度は、熊本保健科学大学の前身である「化血研衛生検査技師養成所」が創設されてから満60年を迎える節目の年でした。そのため、開学記念日である5月15日に記念式典・特別講演会(新アリーナ)及び祝賀会(レストラン)を開催するとともに、50周年後の10年間の「本学のあゆみ」を冊子体として作成しました。

また、2015(平成27)年度以来、教育改革推進会議のもとで進められてきた各種教育改革・入学試験改革は、基本になる制度設計を終え、教育改革の実践、特にアセスメントプランに基づくPDCAサイクルの確立に全教職員の力を注ぎました。また、この改革の一つの成果として、「特色ある教育」に対する補助金事業である私立大学等改革総合支援事業のタイプ1に選定されました(過去7年間で6度目の選定)。

年度末に入ると、日本全国に非常事態を巻き起こした新型コロナウイルス感染症への対応に追われました。本学では、1月30日に学生に対して注意喚起を行ったのをはじめとして、2月20日に危機管理委員会を招集し、その下に「新型コロナウイルス感染対策WG」を設置しました。さらに、2月26日には「危機対策本部」を設置し、年度内に12回の会議を重ね、卒業式の中止や入学式の開催方法、令和2年度前期授業開始日の延期等について決定を下しました。

##### (2) 教育に関すること

###### 1) 優秀で意欲ある入学生の確保

- ① 一般入試において、志願者調書による主体性の評価を試行的に導入しました。
  - ・志願者調書の提出率58.1%
- ② 高校との入試改革に関する意見交換会を実施しました。
  - ・2つの県立高等学校(市内及び市外の拠点校)で実施
- ③ 次年度から新たに導入する総合型選抜の具体策を決定しました。
  - ・リーダーシップ選抜(通称)、給付型奨学金制度との連動

###### 2) 教育課程の体系的な改編

- ① アカデミックスキル養成を目的とした全学必修科目を開講しました。
  - ・アカデミックスキルI(1年前期)、アカデミックスキルII(1年後期)
- ② 専門科目への橋渡しとして効果的なリメディアル教育の見直しを行いました。
- ③ コア・カリキュラム改定に伴うリハ学科のカリキュラム構築を完了しました。

###### 3) 授業の質向上と学務IRの推進

- ① アクティブ・ラーニングのワークショップを開催しました。
  - ・OSCE導入支援(10月)、ピアレビュー(12月)
- ② 3学科混成による4年次後期開講科目「チーム医療演習」の充実を図りました。
  - ・模擬患者(臨床所見、検査データ)の病態やケアを統合した発表の実施(11月)
- ③ FDセミナーを実施しました。
  - ・9月「キャンパスにおける多様性への配慮」  
講師:福岡女学院大 池田理知子氏
  - ・3月「第三期認証評価のねらいと概要」→新型コロナウイルスの影響で中止

###### 4) 教育結果の検証とフィードバック

- ① アセスメントプランに基づき実施し、学生へのフィードバックを行いました。
  - ・国家試験合格率、就職・進学率、進級・卒業率、中退率等の分析(4~5月)
  - ・基礎力レポートI(1年次4月)→分析会の実施(9月)
  - ・基礎力レポートII(3年次10月)→分析資料のWebポータルサイトへの公開
  - ・学修行動調査(1年次10月、2~4年次4月)→学生との意見交換会(1月)
  - ・授業改善アンケート(前期:回収率75.8%、後期:回収率72.5%)
  - ・卒業前アンケート(2月)、卒業生アンケート(12月)
  - ・学長による4年に一度の施設訪問(8施設)→就職先アンケート
- ② 修学ポートフォリオを本格的に運用し、学修成果の可視化を行いました。
  - ・SG担任による学生全員面談の実施、修学ポートフォリオへの入力率90%
  - ・卒業生の希望者にディプロマサプリメントとして学修成果証明書を発行

###### 5) 学外実習の充実

- ① 実習指導者会議を開催して、実習施設との連携を強化しました。

- ② 学外実習にルーブリック評価を導入し、学生へのフィードバックを行いました。
- ③ 各学科専攻でOSCE(客観的臨床能力試験)を検討し、一部導入しました。

#### 6) 学生の主体的活動の支援

- ① ピア・サポーター(実働91名)、1年生プチ・サポーター(実働36名)。
- ② 学生自らが選書に参加する選書ツアーを2回実施し、合計353冊を選書しました。
- ③ 学友会活動等の支援(主な活動支援)
  - ・球技大会(6月)、杏祭(10月)、
  - ・シーズンプロジェクト(7月、12月)
  - ・西里駅清掃(毎月1回土曜日実施、雨天等の中止3回、延べ617名参加)

#### 7) 国家試験対策の強化

- ① 国家試験ガイドラインを視野に入れた教育及び対策を実施しました。
- ② 過去の国家試験合格と学業成績との関連を示し、学生に意識付けを行いました。
- ③ 国家試験対策講演会(10月、講師:大畑 誠也 氏)を開催しました。

#### 8) 就職支援の強化

- ① 全学科において就勝ガイダンスを実施しました。
  - ・医検(2月)、看護(2月)、リハ(9月)、ST(4月・5月)
- ② 医療機関によるキャリア教育セミナー及び合同就職説明会を実施しました。
  - ・看護学科84施設、リハ学科82施設、言語聴覚学専攻13施設
- ③ 就職支援課による4年生に対する全員面談を実施しました。
  - ・面接実施率92%(テラーメイド就職支援の一環)

#### 9) 社会活動の推進

- ① 各種イベントで、本学の特性を活かした健康・体力測定等を実施しました。
  - ・フードパル熊本主催「花と食の祭典(5月)」422名参加
  - ・「フードパルフェスタ(11月)」243名参加
  - ・「ふれあいフェスタinほくぶ(11月)」163名参加
  - ・城北校区秋祭り「ふれあいの日(10月)」214名参加
  - ・西里校区「井芹川大清掃」への参加(11月):学生64名、教職員16名
  - ・西里校区グラウンドゴルフ大会の実施(5月)159名参加、(11月)200名参加
- ② 地域包括連携医療教育研究センター教員による熊本市北区及び合志市との連携活動を継続的に実施しました。

#### 10) 国際力の向上

- ① 大邱保健大学(韓国)
  - ・Global Student Leadership Programに本学学生3名(医検1名、看護2名)を派遣(8月11日~20日)
  - ・交換研修生として本学学生8名(医検1名、看護2名、リハ5名)を派遣(8月29日~9月10日)
  - ・大邱保健大学学生8名(医検1名、看護2名、リハ5名)の受入れ(7月1日~15日)
- ② コンケン大学(タイ)
  - ・交換研修生として本学学生6名(医検2名、看護2名、リハ2名)を派遣(9月7日~20日)

- ・コンケン大学の学生6名(医検2名、看護2名、リハ2名)の受入れ(6月1日~15日)
- ・コンケン大学看護学部から1名の教員が交換研修生の引率として滞在
- ③ 熊保大海外留学プログラムへの学生派遣
  - ・米国イリノイ州での滞在・現地の病院訪問等(当初予定3月1日~29日)
  - ・参加学生19名(医検2名、看護9名、リハ8名)
  - ・新型コロナウイルスの影響で、プログラムを変更して早期帰国(3月25日)

### (3) 研究に関すること

#### 1) 本学の特色を生かした共同研究の推進

- ① 化血研と「生物毒素・抗毒素共同研究講座」を設置しました。
- ② 研究シーズ集の公開数を増やしました(ホームページ掲載7件)。
- ③ 地域包括連携医療教育研究センター主催の講演会や研修会を開催しました。
  - ・9回実施、延べ250名以上の参加
- ④ 国際シンポジウム(11月)へ参加しました。
  - ・コンケン大学(タイ)で開催、参加・発表者:教員7名、職員1名

#### 2) 若手研究者の支援

- ① 科研費書き方講習会(8月)を開催しました。
- ② 研究に関するアンケートを実施し、現状を把握しました。
- ③ 「私の部屋でランチを」(8回)、「サイエンスカフェ」(7回)の実施

#### 3) 研究環境等の整備

- ① 図書館の活用状況は、以下の通りでした。
  - ・年間の開館日数は269日(前年268日)
  - ・入館者数85,893人(前年79,703人)
  - ・学生への貸出冊数13,897冊(前年14,869冊)
  - ・国家試験支援の休日特別開館(2月の土日祝日7日間):1,570人が来館
- ② 研究支援としてProQuest電子ブックの契約、医中誌Webのフリーアクセス契約

#### 4) 外部資金の獲得

- ① 令和元年度文科省科研費
  - ・新規7件採択(申請36件、採択率19.4%)、異動1件、継続4件、補助期間延長2件
- ② 令和2年度文科省科研費申請31件(前年度36件)(うち令和2年4月に7件の採択決定通知)
- ③ 9件の共同研究実施(ラッキー工業(株)、ヤファー(株)、(株)バスクリン、協和メデックス(株)、化血研、KMバイオロジクス(株)、熊本大学、大正製薬(株)、他1件)

#### 5) 研究費の効果的配分

- ① 学内研究助成・研究成果報告会(3月予定)→新型コロナウイルスの影響で中止
- ② 平成30年度学内研究助成報告集の発行(8月)

#### 6) 研究成果の社会への還元

- ① 研究成果の評価
  - ・優れた研究成果のホームページへの掲載促進(4件)
  - ・研究業績管理システムの運用
  - ・熊本保健科学大学研究誌第16号を学術情報リポジトリにてWeb公開

## ② 学術的集会の開催

- 熊本保健科学大学先端研究セミナーの開催(9月から毎月1回、計4回開催)  
「古くて新しい疾患予防・治療法:Physical Medicineの研究」  
甲斐文教 氏  
「ウイルス感染症治療薬研究の最前線」三隅将吾 氏  
「アミロイドMRI~AD発症前検出と予防のために~」米田哲也 氏  
「iPS細胞から腎臓を創る」西中村隆一 氏
- 学術講演会の開催  
「ケアイノベーション2020」真田弘美 氏(2月13日)  
「iPS細胞を用いた疾患研究」江良沢実 氏(2月19日)  
「アルデヒドが心筋梗塞、がんを生む」水野雄二 氏(2月19日)

## ③ 熊本保健科学大学研究誌第17号の発行

- 投稿数16件、採択数12件(総説1件、原著5件、研究報告3件、教育実践報告1件、その他2件)

## 7) 倫理規定の遵守

- 不正防止に関するeラーニング研修の受講を案内しました(受講率72.5%)。
- 顧問弁護士による利益相反講習会(9月)を開催しました。
- ライフサイエンス倫理規程を一部改正しました。

## (4) 経営に関すること

### 1) 中長期計画の実行とローリング(期中修正)

- 2019年度は新たに策定した中長期計画の初年度に当たするため、中長期計画および年次事業計画に則ってPDCAサイクルを循環させ、中長期計画を着実かつ効果的に実行することに重きをおいて取り組みました。
- 中長期計画の達成度評価および必要に応じたローリング(期中修正)については、中長期計画の実行状況を年次事業報告に基づいて整理したうえで、2020年6月末を目処に実施する予定です。

### 2) ブランド力の構築・強化

- ユニバーシティ・アイデンティティ(UI)の構築を進め、レギュレーションを概ね完了しました。
- ブランドコンセプト/タグライン/ボディコピー/キービジュアルを積極的に活用して、本学のブランディングを進めました。
- 大学案内/ホームページ/Web広告などの効果検証方法を概ね確立し、最大化に向けた具体策を検討中です。
- 加速する国際化に対応するため、英語版ホームページを制作し、2019年4月にリリースしました。

### 3) 財政の健全化

- 「広義の教育研究経費比率を60%、広義の管理経費比率を20%、減価償却費比率を15%に抑制し、残る5%を経常収支差額として、次なる経営戦略の原資とする」という目標達成のための実行計画を検討しましたが、2020年度予算の経常収支差額が±ゼロの状況であり、現状では2022年度までの目標達成がかなり難しいため、2020年度に改めて抜本的な収入増化策や支出削減策を検討することとしました。

### 4) 組織の整備・拡充/人事・給与制度の適正化

- 2020年4月から事務組織の再編を実施しました。2020年度

も引き続き、組織体制/人事/人員配置のあるべき姿を検討して、フレームワークの構築を進める予定です。

- 診療放射線系学科の事前調査を行い、概ね完了しました。
- 新たな人事・給与制度の確立には至りませんでした。人事評価の処遇への反映方法など、現行制度の変更を検討し、職員代表に提示しました。
- 業務効率向上とキャリア形成を勘案した適正配置を実現するため、保留となっていた異動対象者の配置転換を実施しました。また、職員力の向上を目的としたSD研修会を1月に実施しました。

## 5) 施設の活用・整備

- 旧アリーナ・レストランの改造計画について、2021年3月完成に向けて計画どおりに実行しました。
- 自宅外生/留学生の交流/国際交流を支援するとともに、県外入学志願者の確保にも繋げるため、学生寮やそれに準じた施設の整備を検討中ですが、現時点では効果的な方策は見つかっていないため、2020年度も引き続き検討を進める予定です。

## 6) 学費水準の検討/財源の多様化

- 消費税値上げ等に対応して、学費値上げの是非を学生募集/財務の両面から検討し、2020年度入学生からの学費値上げを実施しました。
- 安全性/収益性に配慮した資金運用を図り、41百万円/年の金融資産運用益を獲得しました。
- 熊本大夢基金を創設し、70個人から400万円、8法人から7,000万円の寄付を頂きました。

## 7) 病院・大学との連携/マーケティング

- 関係の深い福田病院、崇城大学との連携協定を締結しました。
- 大学という成熟マーケットにおける継続的な競争優位性を確立するため、競合する他大学の現状調査・分析を実施するとともに、リクルート進学総研所長の小林浩氏による講演を開催し、競合他大学の動向を踏まえた競争戦略策定のベースづくりに取り組みました。

## 8) 奨学金制度の新設・拡充

- 経済支援の視点/学生募集の視点から、入学試験前予約型奨学金制度を新設し、2020年度入学生から開始しました。
- 非社会人大学院生の奨学金を拡充し、2020年度入学生から開始しました。

## 9) 事務の効率化

- 合理化/防犯/不正防止の観点から、旅費経費等精算のキャッシュレス化を実現し、2019年4月から開始しました。

## 10) 自己管理/内部監査

- 令和2年3月の理事会・評議員会は新型コロナウイルス感染防止対策下での実施となりましたが、概ね適切に運営しました。
- 三様監査体制の充実までには至りませんでした。内部監査体制の強化に努めました。

## (5) 業務運営・その他に関すること

### 1) 学長のリーダーシップによる大学のガバナンス強化

- 大学運営協議会(定例11回開催)で審議・報告された主な事項
  - 学則、その他の学内諸規程の制定、改定
  - 事業報告・事業計画、中長期計画
  - 決算、予算
  - 共同研究講座

- 補助金事業申請への対応
  - 自己点検・評価への対応
  - 認定看護師教育課程の再開講
  - 寄附講義 など
- ② 教授会(定例11回、臨時6開催)で審議・報告された主な事項
- 入学試験日程及び合否判定(指定校・一般推薦、一般、センター前・後期)
  - 卒業認定、進級判定、保健師選択学生の選考、単位認定(TOEICなど)
  - 学生の各種表彰・懲戒
  - 科目等履修及び学籍異動
  - 授業暦
  - 指定校の選定
  - カリキュラム変更、学内諸規程の制定・改定
  - ティーチング・アシスタント
  - 大学運営協議会報告、各委員会報告 など
- ③ 学術研究会議(定例5回、臨時2回開催)で審議・報告された主な事項
- 学内研究助成の募集に関する検討、申請の審査・採択
  - 学外との共同研究、受託研究の受入
  - 学術講演会の開催及び報告
  - 研究員の受入・更新、諸規程の改定
  - 研究に関するアンケートの実施
  - 研究倫理教育の研修(eラーニングの利用) など
- 2) 人事評価制度の改善及び教職員の能力向上
- ① 教員評価については、平成31年4月から令和2年3月までの自己評定について、新規教員への説明会を実施しました。自己評定を基に教員評価を実施し、令和2年4月給与から処遇へ反映させます。
- ② 職員評価については、平成30年10月から令和元年9月までの一年間の評価を、令和2年4月の昇給に実処遇反映させます。
- 3) 職場の環境づくりの推進
- ① 労働安全衛生の取り組み
- 全教職員に対してストレスチェック(11月)を実施し、産業医の指導のもとで高ストレス者面接を行うとともに、集団分析を行いました。
  - 衛生委員会による職場巡視(9回)を行い、職場環境の改善につなげました。
  - 作業環境測定を計画通り2回(7月、1月)実施しました。
- ② 施設設備の整備活用(100万円以上)
- 銀杏橋外灯更新:老朽化対応(1,058,400円)
  - 吸収式冷温水発生装置(2号機)定期整備:定期整備(3,420,000円)
  - クーリングタワー充填剤交換:老朽化対応(3,410,000円)
  - ガス発生装置用温水システム設備更新:老朽化対応(1,323,000円)
  - 屋上防水工事(1号館,レストラン,旧アリーナ):雨漏り予防(3,682,800円)
  - 会議室(1204~1206)のマイク増設:会議時の利便性向上(1,141,800円)
  - 3号館入口自動ドア取付け:利便性向上(3,212,000円)
  - 3号館3309雨漏り補修:雨漏り対応(1,903,000円)
  - 講義室オーディオ機器更新:学内定期点検後の不良個所対応(1,329,900円)
  - キンモクセイ・ツツジの植込み:園芸療法・周辺環境整備(2,107,600円)
  - アリーナ南側法面防草シート設置:安全面から除草作業の廃止(5,368,000円)
  - アリーナ外壁サイン工事:広報の一環(8,888,000円)
  - 1号館非常灯更新:バッテリー切れによる点灯不可対応(3,905,000円)
  - 3号館3階教員室増設:教員用個室不足対応(8,800,000円)
  - 体育会系部室建設:旧アリーナ改造に伴う体育会系部室建設(62,046,000円)
  - 駐輪・駐車場更新:建築基準法対応(28,600,000円)
- 4) 評価の充実
- ① 令和元年度自己点検・評価報告書の作成
- 作成(10月)、理事会提出(11月)、ホームページ公開(10月)
  - 改善の実質化のため、基準ごとの点検項目を関連部署に周知
- ② 第3期大学機関別認証評価受審の体制整備
- 受審年度:令和2年度(2020年度)、リエゾンオフィスの本格始動
- ③ 外部の大学評価委員による自己点検・評価報告書のチェック
- 5) 情報公開や情報発信等の推進
- ① 法令等に基づいた的確な情報公開の実施
- 事業報告書、収支計算書、貸借対照表、財産目録、監事による監査報告書を事務所に備え置くとともに、『学園通信ぎんぎょう』、学内LAN、ホームページを通じて学内外に公開しました。
- 6) プラットフォーム形成への参画等、他大学との連携
- ① 大学コンソーシアム熊本の各部会・委員会への参画
- 大学コンソーシアム熊本によるプラットフォームの形成に際し、中心となる3大学(熊本学園大、崇城大、本学)の一つとして積極的に関与し、補助金の獲得に寄与しました。
- ② 九州地域大学教育改善FD・SDネットワーク(Q-Links)賛同校としての活動
- Q-Links賛同校等に本学のセミナー等への参加を呼びかけ、FDセミナーに学外から5名の方に参加していただきました。
- ③ 連携協定を締結している他大学との連携
- 合同FDの実施(崇城大学)
  - 特別転入学制度の整備と運用(熊本学園大学)
- ④ 日本私立大学協会九州支部の「第6回初任者研修会」を当番大学(九州看護福祉大学・崇城大学・本学)の代表校として企画し、本学において開催しました。
- 実施日:8月29日~30日、研修参加者:63名

## 令和2年度事業計画

「建学の精神」、「大学のミッション」、「大学の基本理念」等を踏まえた上で、「将来ビジョン」実現のためのアクションプランとして「中長期計画」(2019年4月1日～2031年3月31日)を策定した。そこでは、「中期計画(教育)」、「中期計画(研究)」、「中期計画(経営)」及び「中期計画(部門別)」の枠組みを立てているが、ここでは、教育、研究、経営及び業務運営・その他の項目についてそれぞれの期間目標ごとに令和2年度の事業計画を策定し、その重点的な取組みを達成目標とともに示す。

なお、「4.業務運営・その他に関する目標」については、「中期計画(部門別)」の中の事務部門の計画内容に対応するが、中期計画の中では前述した枠組みとして設定していなかった。しかしながら、その内容が多岐にわたる大学全体の計画であると同時に、「情報公開や情報発信等の推進」など中期計画に記載すべき重要事項を含むので、四つ目の枠組みとして設定して記述した。

### 【基本理念・教育目標、将来ビジョン】

本学は、「知識」「技術」「思慮」「仁愛」を四綱領とし、以下の基本理念を掲げている。

- ① 保健医療分野に関する専門知識技術の教育と研究を行う
  - ② 人間と社会に深い洞察力を持つ人材の育成
  - ③ 高度な知識と技術を有し、保健医療分野に貢献できる人材の育成
  - ④ 豊かな人間性を備え、創造性に富む、活力ある人材の育成
- さらに、この基本理念に基づいて、次の教育目標を掲げている。
- (1) 生命の尊厳と社会について洞察力を有し、自立できる人材を育てる
  - (2) 広い視野に立ち、課題探求力と問題解決力を有する人材を育てる
  - (3) 医療専門職と連携協働し、自己責任の果たせる人材を育てる
  - (4) 多様な価値観を理解し、国際的な言語運用能力と情報技術を持つ人材を育てる
- これらの基本理念のもと、本学では2030年に向けての将来ビジョンを、次のように定めている。

### 1 教育に関する目標 (☆印は中期計画の期間重点目標、★印は令和2年度の重点項目)

#### 【令和2年度の重点的な取組みとその達成目標】

- 「総合型選抜【新規】」等の実施による「意欲ある受験生」の選抜  
⇒新たな入試制度による厳正な選抜の実現(定員充足率115%)
- アセスメントプランに基づいた学修成果の検証とフィードバック  
⇒アセスメントプランの着実な実行(実行率100%)
- SG担任を中心とした修学ポートフォリオ等を活用した学生支援  
⇒セメスターごとの学生へのフィードバック(実施率100%)

#### 1-1 優秀で意欲ある入学生の確保 ★

- 1-1-1 総合型選抜【新規】による意欲のある受験生の選抜
- 1-1-2 総合型選抜と連動した学納金減免制度の構築
- 1-1-3 新たなルールに基づく入試の実施と検証
- 1-1-4 春季オープンキャンパスを起点とした志願者の安定的確保
- 1-1-5 奨学金制度との連動や留学生への支援による大学院受験生の確保

#### 1-2 教育課程の体系的な改編 ☆

- 1-2-1 教育課程との連動性に配慮したリメディアル教育の改善
- 1-2-2 一連の「アカデミックスキル」関連科目の効果的な実施を通じた基本的リテラシー等の養成
- 1-2-3 カリキュラムマップと科目ナンバリングの評価と見直し
- 1-2-4 大学院の分野・領域の拡充に向けた検討の推進
- 1-2-5 特定行為研修を含む新たな認定看護師教育制度の運用

#### 1-3 授業の質向上と学務IRの推進

- 1-3-1 アクティブラーニングの導入推進と質の向上
- 1-3-2 シラバスの充実と到達目標達成度に基づいた授業の改善
- 1-3-3 eラーニングの拡充等による大学院教育の充実と活性化
- 1-3-4 入学から卒業までのIRデータの蓄積と活用

#### 1-4 教育結果の検証とフィードバック ☆★

- 1-4-1 アセスメントプランに基づいた学修成果の可視化
- 1-4-2 ルーブリック評価の導入推進と見直し
- 1-4-3 修学ポートフォリオの定着とディプロマサブリメントの構築
- 1-4-4 各種IRデータをもとにした教育内容や教育環境の改善

#### 1-5 学外実習の充実

- 1-5-1 提携病院の開拓と連携の強化
- 1-5-2 学外実習前教育の充実
- 1-5-3 学外実習へのルーブリック評価の100%導入
- 1-5-4 客観的臨床能力試験(OSCE)の導入促進
- 1-5-5 「チーム医療演習」を通じたチーム医療教育の充実

### 熊本保健科学大学の将来ビジョン～2030年に向けて～

#### 保健医療大学として、我が国のリーディング大学の一つとなる

##### 〈ビジョン1〉

#### 社会の変化に対応し、リーダーシップを発揮できる医療技術者の養成

- 〈ビジョン1-1〉 教育改革の推進と学生ファーストの学修支援
- 〈ビジョン1-2〉 独創的な研究の推進と大学院の充実

##### 〈ビジョン2〉

#### 地域に根ざし、地域と共に歩み、社会の幸福実現に貢献

- 〈ビジョン2-1〉 教育・研究組織の充実
- 〈ビジョン2-2〉 魅力的な教育・研究環境の充実

##### 〈ビジョン3〉

#### 10年後も20年後も選ばれ続けるためのブランド力の強化

- 〈ビジョン3-1〉 学生・教職員の国際力の向上と海外大学等との連携強化
- 〈ビジョン3-2〉 教員と職員が協働する効率的・合理的な職場環境の構築

### 1-6 学生の主体的活動の支援及び国家試験対策・就職支援の強化 ☆★

- 1-6-1 スモールグループ担任を中心とした学生支援の充実
- 1-6-2 ピアサポート制度のさらなる充実
- 1-6-3 修学ポートフォリオを活用した学生支援体制の整備
- 1-6-4 テーマ特化型及び窓口型学修相談室(スタサ)の実施
- 1-6-5 アカデミックスキルラボによる実質的運用と支援
- 1-6-6 学生相談・修学サポートセンターを中心とした対象学生の支援
- 1-6-7 ラーニングコモンズ利用促進等による自主的学修活動の支援
- 1-6-8 学生のボランティア活動の奨励と支援
- 1-6-9 国家試験合格に向けた学習支援の充実と強化
- 1-6-10 テーラーメイド就職支援の定着と強化

### 1-7 社会活動の推進

- 1-7-1 地域社会に向けた公開講座や地域連携活動・生涯学習教育の実施
- 1-7-2 高大連携による高校生向けの模擬講義・実習の実施
- 1-7-3 健康・体力測定等の地域連携活動を通じた社会貢献の充実
- 1-7-4 地域包括連携医療教育研究センター(ちいき楽暮)を中心とした地域の教育研究拠点としての機能の充実と発信

### 1-8 国際力の向上

- 1-8-1 大邱保健大学(韓国)とコンケン大学(タイ)との交換研修の推進
- 1-8-2 米国イリノイ州への短期留学プログラムへの参加の奨励・支援
- 1-8-3 国際シンポジウムへの参加と次年度主催準備委員会開設

### 2 研究に関する目標 (☆印は中期計画の期間重点目標、★印は令和2年度の重点項目)

#### 【令和2年度の重点的な取組みとその達成目標】

- 品質保証・精度管理学講座(仮称)の新設等による共同研究の拡充  
⇒共同研究講座と学部・大学院研究との連携の実現(連携事例1件以上)
- 動物実験施設に係る環境整備計画の策定  
⇒動物実験施設の改修方針の決定(今年度中)

### 2-1 本学の特色を生かした共同研究の推進 ☆★

- 2-1-1 ちいき楽暮における共同研究の推進
- 2-1-2 国内外大学との共同研究や共同シンポジウム開催の推進
- 2-1-3 研究シーズ集の充実
- 2-1-4 化学及血清療法研究所との共同研究講座の充実

### 2-2 若手研究者の支援 ☆

- 2-2-1 若手研究者の海外研修・国際会議発表・留学の促進
- 2-2-2 学位取得支援制度の実施と検証
- 2-2-3 英語論文作成の支援

## 2-3 研究環境の整備 ★

- 2-3-1 研究室・研究機器の整備
- 2-3-2 研究・研修日の効果的使用の促進

## 2-4 外部資金の獲得

- 2-4-1 科研費をはじめとする外部資金獲得申請及び採択の促進
- 2-4-2 共同研究・受託研究による外部資金獲得の促進
- 2-4-3 科研費等採択者による講演会の開催と申請支援制度の充実

## 2-5 研究費の効果的配分

- 2-5-1 円滑かつ効果的な研究費配分法の検証と改善
- 2-5-2 学内研究発表会の開催

## 2-6 研究成果の社会への還元

- 2-6-1 学術専門誌への掲載や国際・国内学会での発表の促進
- 2-6-2 熊本保健科学大学研究誌の充実
- 2-6-3 定期的なサイエンスカフェの実施
- 2-6-4 優れた研究成果の大学ホームページ等への掲載促進
- 2-6-5 研究業績管理システムの運用と有効活用

## 2-7 倫理規定の遵守

- 2-7-1 研究不正防止・研究費不正使用防止に関する研修会の実施
- 2-7-2 顧問弁護士による利益相反講習会の実施
- 2-7-3 研究倫理委員会による厳正な審査

## 3 経営に関する目標(☆印は中期計画の期間重点目標、★印は令和2年度の重点項目)

### 【令和2年度の重点的な取組みとその達成目標】

- PDCAサイクルの循環による中長期計画の着実な実行  
⇒年次事業計画との同期化による中長期計画の達成度評価とローリング  
(実行率100%)
- 財政の健全化と次の成長戦略のための体力回復  
⇒収支予算の達成(経常収支差額の予算達成率100%)
- 学科・専攻等の新設／増員に向けた綿密な事前調査と設置準備  
⇒競争力のある学科・専攻等の新設／増員計画の策定と申請(今年度中)
- 大学という成熟マーケットにおける継続的な競争優位性の確立  
競合他大学の動向を踏まえた競争戦略の検討  
⇒継続的な競争優位性の確立と競争戦略の策定(今年度中)

## 3-1 中長期計画の実行とローリング ☆★

- 3-1-1 PDCAサイクルの循環による中長期計画の着実な実行
- 3-1-2 年次事業報告に基づく中長期計画の達成度評価
- 3-1-3 達成度評価に基づく必要に応じた中長期計画のローリング
- 3-1-4 内外の環境変化を踏まえた「環境分析」「経営戦略」のローリング

## 3-2 ブランド力の構築・強化 ☆

- 3-2-1 ユニバーシティ・アイデンティティ(UI)の構築
- 3-2-2 タグライン/キービジュアル等の有効活用によるブランディング
- 3-2-3 大学案内/ホームページ/Web広告等媒体別の効果検証と最適化
- 3-2-4 加速する国際化への対応

## 3-3 財政の健全化 ☆★

- 3-3-1 震災や新アリーナ後の財政健全化と次の成長戦略のための体力回復
- 3-3-2 予算策定での査定充実と予算配分での適切性/透明性/公平性の確保
- 3-3-3 全学的な優先項目への資金の重点配分
- 3-3-4 環境分析も含む長期的な予測に基づいた財政運営

## 3-4 組織の整備・拡充／人事・給与制度の適正化 ★

- 3-4-1 組織/人事/人員のあるべき姿の追求とフレームワークの構築
- 3-4-2 学科・専攻等の新設/増員に向けた綿密な事前調査と設置準備
- 3-4-3 能力主義/役割主義/成果主義の人事・給与制度と明瞭で公平な採用
- 3-4-4 業務効率向上/キャリア形成を勘案した職員の適正配置と体系的SD

## 3-5 施設の活用・整備

- 3-5-1 旧アリーナ・レストラン改造計画の着実な実行
- 3-5-2 交通便利性に優れた本学の価値を高めるキャンパス再配置計画
- 3-5-3 学生寮等の整備による自宅外生/留学生の支援と県外志願者の確保

3-5-4 マニュアル化/数値目標化による環境配慮とエネルギー管理の強化

## 3-6 学費水準の検討／財源の多様化

- 3-6-1 学生募集/財務の両面からのあるべき学費水準の継続的検討
- 3-6-2 安全性/収益性に配慮した資産運用
- 3-6-3 長い歴史と多くの卒業生に相応しい水準の寄付金獲得
- 3-6-4 補助金/受託研究資金等の確保と収益事業の検討

## 3-7 病院・大学との連携／マーケティング ★

- 3-7-1 関係の深い病院・大学との連携協定と更なる緊密な関係性の構築
- 3-7-2 大学という成熟マーケットにおける継続的な競争優位性の確立
- 3-7-3 競合他大学の動向を踏まえた競争戦略や附属病院等の検討

## 3-8 奨学金制度の新設・拡充

- 3-8-1 経済支援/学生募集の視点からの入試前予約型奨学金制度の新設
- 3-8-2 総合型選抜入学生を対象とした奨学金制度の新設
- 3-8-3 非社会人大学院生の奨学金制度の拡充

## 3-9 事務の効率化

- 3-9-1 精算キャッシュレス化/決裁電子化による合理化/防犯/不正防止
- 3-9-2 購買/物品管理システムの改善による業務の合理化
- 3-9-3 シラバス/出席管理/電子掲示板システム改善による学生利便性向上

## 3-10 自己管理／内部監査

- 3-10-1 理事会/評議員会の適切な運営と自己管理の強化
- 3-10-2 内部監査/監査法人監査/監事監査からなる三様監査体制の充実
- 3-10-3 日本高等教育評価機構の認証評価受審における高評価の維持

## 4 業務運営・その他に関する目標(★印は令和2年度の重点項目)

### 【令和2年度の重点的な取組みとその達成目標】

- 大学の内部質保証体制の確立  
⇒教育改革推進会議主導による3ポリシー達成度の検証(随時)  
⇒各種IPデータに基づくマネジメント(随時)
- 「第3期大学機関別認証評価」実地調査に向けた全学的な対応の実現  
⇒リエゾン・オフィスを中心とした全学的な体制の強化(適合の獲得、重大な指摘事項0)
- 「大学コンソーシアム熊本」で形成するプラットフォームへの積極的な参画  
⇒各種委員会等への委員の派遣(委員会及び作業部会への参画)  
各種取組に対する目標値の設定とその達成(達成率100%)

## 4-1 学長のリーダーシップによる大学のガバナンス強化 ★

- 4-1-1 教育改革推進会議主導による教育改革の発展的継続
- 4-1-2 IRIによるマネジメント体制の強化
- 4-1-3 危機管理体制の強化及び利益相反マネジメントの継続

## 4-2 人事評価制度の改善及び教職員の能力向上

- 4-2-1 より適正な教員人事評価制度への改善
- 4-2-2 ティーチングポートフォリオによる教育改善効果への波及
- 4-2-3 事務職員の適正配置と職員評価基準の見直し
- 4-2-4 事務職員の能力向上を目指した体系的なSDの構築

## 4-3 職場の環境づくりの推進

- 4-3-1 職場巡視と環境改善への取組み
- 4-3-2 ストレスチェックの実施
- 4-3-3 作業環境測定の実施

## 4-4 評価の充実 ★

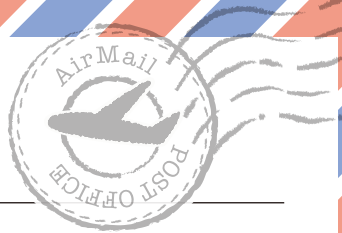
- 4-4-1 第3期大学機関別認証評価の受審
- 4-4-2 中長期計画と連動した事業計画・報告の策定と評価
- 4-4-3 アセスメントプランに基づく3ポリシー(DP-CP-AP)の達成度評価
- 4-4-4 大学評価委員による外部評価の実施

## 4-5 情報公開や情報発信等の推進

- 4-5-1 法令等に基づいた積極的な情報公開の推進

## 4-6 教育機関・自治体・産業界を含めたプラットフォーム形成への参画





## 米国短期留学生のレポート

アメリカ留学  
の感想リハビリテーション学科  
PT専攻 4年  
興梠 真大

今回の留学を通して多くのことに感謝できるようになりました。異国の地で思ったように言葉も通じず、スムーズに会話できないからこそ一つの会話に集中でき、わからないことが多いからこそ、それをサポートしてくれる周囲の人々の温かさをより敏感に感じ取ることができました。また、今回の留学では限られた範囲でしか活動できない状況が続き、これまで当たり前だと思っていたことでも幸せなことだったのだと気づかされました。この1か月は私にとって本当に大切なことを教えてくれた気がします。今回のプログラムに参加できたことに感謝しています。

アメリカ留学中の  
語学学校での  
活動について看護学科 4年  
清永 実優

現地の語学学校では外国人学生と共に文法やスピーキング、リスニングの授業を受けました。授業はフレンドリーな先生とリラックスした雰囲気で行われ、発言がしやすい環境でした。学校では勉強だけでなく、課外活動も充実していました。カフェに集まり、他学生とコミュニケーションをとるプログラムがあり、参加することで沢山の学生と関わることができました。慣れない英語で会話をすることは緊張しました。しかし、みんな同じく英語を学びたいという目的で参加しているため、文法などを気にせず、積極的に、話しかけることができました。その結果、沢山の友人ができて学校生活を充実させることができました。

アメリカ留学中の  
ホームステイに  
ついてリハビリテーション学科  
ST専攻 4年  
小田 琴美

今回、私がホームステイした家庭は、ホストファミリー、マザー、子供が3人で動物も飼われているとても賑やかな家庭でした。家にいるときは、外で一緒にかくれんぼをしたり、カードゲーム、映画を見たり、夕食の後は文化の違いや自分の家族のこと、その日学校であったことなどを話していました。最後の日には、手作りケーキやプレゼント、手紙を貰い、「また、必ず戻ってきてね」と言われたときは、改めてこの家庭にホームステイできてよかったと思いました。この留学でできた縁を大切に、今回学んだことを将来に生かしていきたいです。



## Library

図書館ホームページ <https://www.kumamoto-hsu.ac.jp/library.html>○『図書館報2020春号』を作成  
しました。

新入生への館長からのメッセージや電子リソース、図書館のイベントなども紹介しています。どうぞご覧ください。図書館ホームページ<https://www.kumamoto-hsu.ac.jp/library.html> の【図書館について】にアクセスしてください。

## ○自宅での学修・研究支援

自宅での学修・研究支援として、電子ブックや電子ジャーナル、新聞記事データベースなど『自宅から利用できる電子リソースサービス』や図書館の本を宅配で借りることができる『図書の宅配貸出サービ

ス』、『文献複写サービス』を行っています(2020年5月20日現在)。詳細は、アクティブアカデミー掲示板フォルダ図書館をご覧ください。

## ○ラーニングcommons

『私の部屋でランチを』は第42回まで開催。演者は、リハビリテーション学科岩下夏岐先生、『サイエンスカフェ』は第10回まで。第10回は松原慶吾先生。研究についてのお話や参加者とのディスカッションが行われました。今年度は、対面授業再開後、開催予定です。詳細は図書館ホームページをご覧ください。

## 図書館蔵書の中から

図書のご紹介  
(電子ブック)

図書館では約600タイトルの電子ブック(動画も含む)を利用できます。[Maruzen eBook Library]、[KinoDen(キノデン)]、[EBSCO]と3つのインターフェイスがあります。最近導入したKinoDenをご紹介します。紀伊國屋書店の学術和書電子図書サービスです。全文検索や印刷、PDF出力もできます。スマートフォン、タブレット、PCなどご自身の端末で利用できます。なお、医学医療の専門書は、[Maruzen eBook Library](動画含む)でも多くご覧いただけます。蔵書検索OPACで検索してご利用ください。

## 熊本城マラソン2020にBLS部員が参加!

看護学科2年 永友 涼夏

令和2年2月16日(日)、「熊本城マラソン2020」に、BLS部員9名がAED隊として参加しました。このボランティアに参加するにあたって、日々の部活動での心肺蘇生法の練習に加え、日本赤十字社救急法指導員の方から、嘔吐や過呼吸時、足首捻挫時の応急処置法を教えていただき、その手技や知識を身につけました。

当日は、ランナーの全身状態(顔や口唇の色、足の運び具合等)を観察し気になったランナーの情報を共有し、後ろ姿を目で追うということを主に行いました。幸いにも重篤なケースは見られませんでした。様子に異変を感じる場合は「大丈夫ですか?」と声を掛けてみるといいよというアドバイスを頂きました。なかなか自分から言い出せずに無理して走り続けているランナーもいるかもしれないため、医療者から優しく声を掛けることが重要だな、と感じました。

今回の活動での学びを活かし、次回AED隊として参加するときにはランナーにとってより手厚いサポートができるようにしたいです。



久しぶり、  
元気かい(会)!!

令和2年2月8日(土)、メルパルク熊本にて、卒業1年目同期会「久しぶり、元気かい(会)」を開催いたしました。その主たる目的は、懇談会を通して近況報告を行い、教職員と卒業生が相互に親睦を深めることです。今回で13回目を迎え、恒例行事となっております。

当日は201名(卒業生152名、教職員49名)の方々に参加されました。卒業生からは、「またみんなで集まりたいです」、「忙しいけれど学ぶ機会が多く毎日充実しています」などのお話を聞くことができました。約一年ぶりの再会に皆さま話題が尽きず賑やかな会になりました。今後、益々のご活躍を期待しています。

(就職・実習支援課)



### 基本理念

本学は、「知識」「技術」「思慮」「仁愛」を四綱領とし、以下の基本理念を掲げる。

1. 保健医療分野に関する専門知識技術の教育と研究を行う
2. 人間と社会に深い洞察を持つ人材の育成
3. 高度な知識と技術を有し、保健医療分野に貢献できる人材の育成
4. 豊かな人間性を備え、創造性に富む、活力ある人材の育成

### 教育目標

1. 生命の尊厳と社会への洞察力を有し、自立できる人材を育てる
2. 広い視野に立ち、課題探求力と問題解決力を有する人材を育てる
3. 医療専門職と連携協働し、自己責任の果たせる人材を育てる
4. 多様な価値観を理解し、国際的な言語運用能力と情報技術を持つ人材を育てる

—— 将来ビジョン ——

保健医療系大学として、我が国のリーディング大学のひとつとなる

**Vision 1**  
社会の変化に対応し、  
リーダーシップを発揮できる  
医療技術者の養成

ビジョン 1-1

教育改革の推進と  
学生ファーストの  
修学支援

ビジョン 1-2

独創的な  
研究の推進と  
大学院の充実

**Vision 2**  
地域に根ざし、  
地域と共に歩み、  
社会の幸福実現に貢献

ビジョン 2-1

教育・研究  
組織の充実

ビジョン 2-2

魅力的な教育・  
研究環境の充実

**Vision 3**  
10年後も20年後も  
選ばれ続けるための  
ブランド力の強化

ビジョン 3-1

学生・教職員の  
国際力の向上と  
海外の大学等との  
連携強化

ビジョン 3-2

教員と職員が  
協働する  
効率的・合理的な  
職場環境の構築

編集  
後記

今年は新型コロナウイルスの影響で様々なことが変更になりました。変更は悪いことばかりではなく、今まで気が付かなかった新しい点が確認できました。ぎんぎょうのデザインも大幅に変更となりました。今まで以上に良い情報を提供いたします。

# 令和3年度 熊本保健科学大学 入試概要

文部科学省より提示された入試制度の新たなルールに基づき、令和3年度入試が変わります。

主な変更点は、総合型選抜(旧:AO入試)の導入や学校推薦型選抜(公募)・一般選抜で受験生の高校での活動実績等を点数化して評価します。また、新たに実施される大学入学共通テストを利用した入学試験を実施します。入試区分や募集人員等については以下のとおりです。

## ■ 募集人員

学部	学科 / 専攻	募集人員	合計	
保健科学部	医学検査学科	100名	320名	
	看護学科	100名		
	リハビリテーション学科	理学療法学専攻		40名
		生活機能療法学専攻		40名
		言語聴覚学専攻		40名

## ■ 入試区分別募集人員 (保健科学部)

入試区分	総合型選抜	学校推薦型選抜		一般選抜	大学入学共通テスト利用選抜		特別選抜 社会人	合計
		指定校	公募		前期日程	後期日程		
医学検査学科	5名	15名	30名	40名	5名	5名		100名
看護学科	5名	15名	30名	40名	5名	5名		100名
リハビリテーション学科 理学療法学専攻	3名	5名	12名	15名	3名	2名	若干名	40名
リハビリテーション学科 生活機能療法学専攻	3名	5名	12名	15名	3名	2名	若干名	40名
リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻	3名	5名	12名	15名	3名	2名	若干名	40名
合計	19名	45名	96名	125名	19名	16名	若干名	320名

※各入試区分の募集人員を一部変更しています。※各学科・専攻の募集人員の合計に変更はありません。

## ■ 入学試験日程一覧 (保健科学部)

入試区分	出願期間	試験日	合格発表	入学手続
総合型選抜	(エントリー期間) 令和2年9月1日(火)~9月15日(火) (出願期間) 令和2年10月1日(木)~10月16日(金)	10月25日(日)	11月2日(月)	令和2年11月2日(月) ~11月13日(金)
学校推薦型選抜	指定校	令和2年11月2日(月) ~11月13日(金)	11月21日(土)	12月1日(火) ~12月15日(火)
	公募			
一般選抜	令和3年1月4日(月) ~1月27日(水)	2月4日(木)	2月17日(水)	令和3年2月17日(水) ~2月24日(水)
利共大用通学テ選入抜ト学	前期日程	個別試験なし		
	後期日程	令和3年2月18日(木) ~3月1日(月)	3月5日(金)	3月12日(金) ~3月19日(金)
選特別	社会人	令和2年10月19日(月) ~10月30日(金)	11月7日(土)	12月1日(火) ~12月15日(火)

※今後、文部科学省等からの要請を受けて、入試の時期が変更になる場合があります。

## ■ 入学試験日程一覧 (助産別科・大学院・キャリア教育研修センター)

助産別科入試区分	出願期間	試験日	合格発表	募集人員
推薦入試	令和2年 10月19日(月) ~10月30日(金)	11月7日(土)	11月13日(金)	10名
一般入試	令和2年 11月16日(月) ~11月30日(月)	12月5日(土)	12月11日(金)	10名

大学院入試区分	出願期間	試験日	合格発表	募集人員
推薦選抜	令和2年 10月19日(月) ~10月30日(金)	11月7日(土)	11月20日(金)	10名
出願資格審査	令和2年10月1日(木)~10月14日(水)			
社会人選抜 (I期)	令和2年 10月19日(月) ~10月30日(金)	11月7日(土)	11月20日(金)	
出願資格審査	令和3年1月28日(木)~2月5日(金)			
一般選抜	令和3年 2月10日(水) ~2月22日(月)	2月27日(土)	3月5日(金)	
出願資格審査	令和3年1月28日(木)~2月5日(金)			
社会人選抜 (II期)	令和3年 2月10日(水) ~2月22日(月)	2月27日(土)	3月5日(金)	

キャリア教育研修センター 入試区分	出願期間	試験日	合格発表	募集人員
認定看護師教育課程 (脳卒中看護分野)	令和2年 10月26日(月) ~11月20日(金)	12月5日(土)	12月22日(火)	6名
特定行為研修課程	令和2年 10月26日(月) ~11月20日(金)	12月5日(土)	12月22日(火)	2名

入試に関するお問い合わせ

熊本保健科学大学 入試・広報課 (直通) TEL.096-275-2215

〒861-5598 熊本県北区和泉町 325 番地 E-mail: nyushi@kumamoto-hsu.ac.jp https://www.kumamoto-hsu.ac.jp

## 「熊保大夢基金」のお願い

さて、本学園では、大学の主役である学生のために、奨学・修学支援、教育環境の充実を目的とした施設設備の推進、及び時代に沿う教育・研究機器の整備を図ることを目的として、「学校法人銀杏学園 熊保大夢基金」へ寄付をお願いしております。

いただきました寄付金は、平成30年3月に竣工しましたJR西里駅前のアリーナ建設や、令和2年秋に竣工予定の新レストラン(学食)などの施設設備も含めて学生生活を充実させることを目的として活用します。

つきましては、本学園へのご理解をいただき、基金へのご支援を賜りますようお願い申し上げます。なお、本学への寄付金は、税制上の優遇措置を受けることができます。詳しくは公式WEBサイト(URL) https://www.kumamoto-hsu.ac.jp または本学経理課までお問い合わせください。同封の「お願い」「募集要項」「申込書」もご覧ください。



Webで  
オープンキャンパス!  
スマホやPCで気軽に  
参加できます。

詳しくはホームページをご覧ください。



熊本保健科学大学では、公益財団法人日本高等教育評価機構において平成26年度大学機関別認証評価を受審し、平成27年3月10日付けて同機構が定める大学評価基準に適合していることが認定されました。本学では今回の認証評価の結果を踏まえ、今後も更なる向上に努めて参ります。